

ツバメ

我が家の外壁に、ツバメが巣をつくりました。巣づくりを始めたのが5月の下旬で、まだ卵をあたためている状態です。おそらく、近所で子育てしているところをカラスにでも襲われ、やむなく引っ越してきたのでしょう。今度は無事に子育てできますようにと、そっと見まもっています。



我が家でツバメの巣づくりを見るのは、これが二度目です。数年前にも同じ場所につくりかけたのですが、途中で泥が落ちてしまい、あきらめて何処かへ行ってしまいました。完成を見るのは、今年が初めてのことで。

ハイヅカ湖周辺では、普通のツバメのほかに、二種類のツバメ類が子育てをしています。少し大柄で尾羽が長いコシアカツバメと、少し小柄で尾羽が短いイワツバメです。コシアカツバメはその名のとおり腰の背面が赤茶色で、イワツバメのほうは腰の背面が白いのも、わかりやすい特徴です。

この二種も、やはり泥と藁でお椀型の巣をつくりますが、巣と基盤の位置関係が普通のツバメとは異なります。普通のツバメが垂直壁から張り出す形で巣をつくるのに対し、この二種はどちらも、水平基盤にお椀の縁をくっつける形で、ぶら下げ型の巣をつくります。

巣をくっつける基盤はたいていコンクリートですが、好みの場所が二種で異なります。イワツバメの巣は橋桁の下でよく見かけるのに対し、コシアカツバメの巣はもっぱら鉄筋コンクリート建築の庇で、とりわけ学校の校舎が大好きなようです。勉強が好きなのかもしれませんね。